# 頭脳循環プログラム採択（2017-19 年度）に伴う
# 被派遣若手研究者の公募について

UCRC では、日本学術振興会が公募を実施した「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に応募していましたが、このたび採択通知がありました。課題名は「周縁的社会集団と近代―日本と欧米におけるアジア史研究の架橋」（主担当研究者：塚田孝、2017-19 年度）で、近世～近代移行期の日本とアジアにおける周縁的社会集団の比較史的研究を米国イェール大学やシンガポール国立大学、上海大学などの研究者との国際共同研究を通じて推進するものです。

つきましては、本プログラム（「プログラムの概要」を参照）で派遣する若手研究者 1 名を公募する必要が生じましたので、UCRC を通じて公募いたします。

2017 年 10 月 16 日

都市文化研究センター
所長　佐賀　朝

## １．公募の内容と応募資格等

アジアにおける周縁的社会集団の歴史を世界史的視野から研究することを前提とし、次の応募資格を満たしている者を選抜の対象とする。

①日本国内の大学等に専任教員として所属する准教授・専任講師・助教など、または日本国内の大学の博士課程に在学する者もしくはそれを修了し、あるいは単位修得退学した者。
②近世～近代移行期のアジア（特に西アジア、南アジア）における社会史に関する業績を有する者。
③派遣先（イェール大学およびシンガポール国立大学）において、本事業の研究課題にもとづく調査研究・企画運営を行える者。
④派遣期間は、2017 年度中の出発を前提とし、原則として 1 年以上（通算）とする。
⑤派遣終了後、派遣期間の研究成果を生かし、国内外の学術・教育活動に大きく資するとともに、派遣成果の還元活動（国際会議・報告会等）に参加するとともに、各専門分野の学術雑誌などに英語で研究成果を投稿する意志のある者。

## ２．選抜基準と選抜方法

### 1）選抜基準

①これまでの研究業績、海外での研究活動実績などが、本事業遂行に充分なものであること。
②派遣先での調査・研究の計画が明確であり、実行可能性が高いこと。
③上記計画が、本事業が掲げる国際共同研究課題の趣旨に合致すること。
④将来、国際的な周縁的社会集団史研究において、全体的な研究動向をリードするような資質を持っていること。

### 2）選抜方法

本事業の運営委員会が、公募書類審査および面接によって派遣に適切な者を選抜する。

### 3）応募に必要な書類と提出期限等

・応募に必要な書類は以下の通り（別紙様式（１）（２）を参照）
　（１）履歴書・研究業績目録
　（２）研究活動計画書

・提出期限

2017 年 10 月 31 日（火）16:00 必着

＊直接提出するか郵送に限る（メール添付での応募は認めない）

・提出先

大阪市立大学（文学研究科）都市文化研究センター（UCRC）事務局（宛）

・選定結果の通知

採用者にはすみやかに連絡する。

※ 「プログラムの概要」と様式（1）（2）はUCRC の WEB サイトからダウンロードできます。

※ 研究員の応募に関する質問は、大阪市立大学大学院文学研究科 教授 佐賀 朝（UCRC 所長）（E-mail：CYI03126@nifty.ne.jp）まで、メールでお問い合わせください。

**大阪市立大学都市文化研究センター**

〒558-8585　大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 大学院 文学研究科内

TEL&FAX：06-6605-3114

E-mail：ucrc_office@lit.osaka-cu.ac.jp

URL：http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/